

2019年度 自己評価結果公表シート

平安女学院大学附属こども園

1、本園の保育・教育方針

キリスト教の愛の精神を保育の基本に据え、「自分のことばかりでなく他人のことも考えることのできる子ども」を育てていく保育・教育を行います。

- ① 自然とたくさん触れ合うなかで、子どもが自分の力で考え、心を動かし、探求し、判断し、想像力や創造力をもっていきいきと活動する
 - ② いろいろな人と一緒に過ごすなかで、自分と友だちや他の人々との違いを認めるとともに、信頼を持つとともに生活する
 - ③ 絵本とたくさん触れ合うことで、豊かな感性をはぐくむ
- 以上の方針に沿って、子どもの自主性や協調性、自己肯定感を育てます。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・ 幼保連携型認定こども園として、0歳児からの発達や育ちを踏まえた保育をする
- ・ 園児や保護者が安心できる場となるように、環境を整える
- ・ 衛生面に配慮して、安心安全な食事を提供する

3、評価項目の取組内容・状況

評価項目	評価項目詳細	取組内容・状況
運営規程	・ 運営規程を整備しているか。また、実態と相違していないか	・ 運営規程を整備している。また、実態と相違していない。
施設設備	・ 基準に定められた設備を有し、保育に適した環境となっているか	・ 基準を満たした設備の中で、園児がのびのびと遊ぶことができるよう、遊具の種類や配置を検討し、整えている
認可定員 利用定員	・ 利用定員については、認可定員の範囲内で認定しているか	・ 利用定員については、認可定員の範囲内で設定している
教職員の配置	・ 保育及び教育に直接従事する教職員の配置は基準を守られているか	・ 個々の発達に寄り添う為、基準を超えてより充実した職員配置を行っている
保育及び教育の内容に関する全体的な計画等	・ 保育及び教育に関する全体的な計画を作成しているか	・ 協議を重ねた期案・月案・週日案などの計画を基に、保育を行っている
保育及び教育の内容	・ 在園時間が異なる多様な園児がいることを踏まえ、園児の生活が安定するよう、工夫しているか	・ 計画していたデイリープログラムと実際との相違が見られたため見直し、園児の生活が安定するよう工夫した ・ 園児の経験する内容が充実したものとなるよう、柔軟性のある計画を立てた
障がい児保育	・ 個々の園児の障がいの状態に応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行っているか	・ 個々の状態に応じた指導を行うために、特別支援指導計画及び個別の教育・保育支援計画を作成している ・ 連絡ノートや懇談会等を通して、保護者との連携を図っている

保育及び教育の記録等	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の育ちに関する帳票を整備し、個人情報適切に取り扱うように努めているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・帳票を整備し、個人情報保護の観点からも適切に取り扱っている
小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼保連携型認定こども園園児指導要録」を作成し、児童の就学に際し、小学校への送付が行われているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末を目途に担任が作成し、主幹及び園長が点検・確認し、送付している
虐待防止等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者の様子に留意し、必要に応じて、市や関係機関と連携しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者の様子に十分留意し、必要に応じて市や関係機関と連携している
健康・衛生管理・事故防止・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・園医・園歯科医による健康診断及び歯科検診を適切な時期に実施しているか ・SIDS（乳幼児突然死症候群）防止のため仰向けに寝かせる、定期的に睡眠時の状態を観察し記録する等、必要な措置を講じているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な時期に、健康診断及び歯科検診を実施している ・研修などで理解を深め、3歳児未満児に対する10分毎の睡眠チェック等の、SIDS防止のために必要な措置を講じているが、チェック表の確認が不十分であったため、確認体制を整える必要がある。また、SIDS防止を確実なものとするため、今後、機器の導入を検討したい ・提示版を通して、保護者への啓発を行っている
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡を適切に行い、家庭との連携を図るように努めているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な方法で家庭との連携を図るように努め、また、新たに意見箱を設置した。受け取った意見について園内で検討したが、その内容と対策を提示や配布物を通して周知するまでに至らなかったため、次年度周知していきたい
保育及び教育時間帯	<ul style="list-style-type: none"> ・保育需要に応じて、適正に保育・教育時間を設定しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に時間を設定し、個々の実情に合わせて柔軟に対応している
地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情や、園の体制などを踏まえ、地域の保護者等に対する子育て支援を、積極的に行うよう努めているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情や園の体制などを踏まえ、園庭開放や一時預かりを行い、地域の子育て支援の一端を担っている。より、幅広く利用してもらえるための利用方法を見直す必要がある
苦情解決体制	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決体制において、苦情解決責任者、苦情受付担当者が選任され、解決の記録は書面によって整備しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情や相談等を受けた教職員は、迅速に苦情解決責任者（主幹）に報告し、解決に努めている。また、その内容については全て園長に報告し、安心・安全に園生活を送れるよう、対策を講じている。なお、2019年度の実績は、苦情件数4件であった。改善のための貴重な情報として、より細かな拾い上げを進めていきたい。

食事提供	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期にふさわしい食生活が提供され、適切な援助が行われているか ・アレルギー対応の必要な園児や障がい児など個々に応じて、かかりつけ医や保護者と連携を図りながら適切に対応しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する用具や調理法等、個々の発達に応じた適切な援助を行い、乳幼児期にふさわしい食生活を提供している ・安心・安全な食生活のため、個々に応じて保護者や委託業者と連携を図っていたが、献立表と提供食との確認や保護者への献立表配布に不十分な面が見られた。提供方法を見直し、全教職員に周知し実施した
食事提供・委託・外部搬入の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・契約関係書類を適切に整備しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約関係書類を適切に整備し、契約の履行状況を確認している

4、保護者評価結果

保護者評価委員会開催日及び場所：2020年2月26日（水）・こども園未就園児クラス保育室

評価者：6名（保護者評価委員）

評価方法：アンケート用紙に記入後、園に提出

評価内容：普段、見て頂いている保育の様子から評価してもらう。

集計した点数を6で割った物を評価とした。この結果を基に、口頭での具体的な評価を委員会ですて頂いた

評価基準 5・・・十分達成されている、 4・・・達成されている、 3・・・どちらでもない
2・・・取り組まれているが成果が十分ではない、 1・・・取組が不十分である

	評価項目	評価
1	お子さんが遊び足りなかったり、疲れすぎたりすることなく、園で過ごせていると思いますか	4.75
2	園での活動は、お子さんの教育や心身の発達に役立っていると思いますか	4.6875
3	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	4.625
4	園で提供される食事おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	4.8125
5	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	4.1875
6	保育時間の変更が急ぎよ必要になった場合、開園時間内において、園の可能な限り、柔軟に対応されていると思いますか。	4.1875
7	園の安全対策が十分取られていると思いますか	4.375
8	行事や参観・保護者会などの園が実施する活動に、保護者が参加しやすい工夫（日程調整など）がされていると思いますか	3.3125
9	子どもの気持ちや様子・子育てなどについて職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	5
10	園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	4.9375
11	あなたは、職員の言葉遣いや態度、服装などが適切だと思いますか	4.9375
12	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときに、職員の対応は信頼できますか	5
13	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できますか	4.9375
14	あなたは、職員がお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	5

15	あなたはお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか	4.9375
16	お子さんの教育・保育内容に関する職員の説明は、わかりやすいと思いますか	3.9375
17	あなたが不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれていると思いますか	4.4375
18	あなたが困ったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることを分かりやすく伝えてくれましたか	3.375
備考	・保育内容等は事前説明の機会があるといいかと思います。 ・園での生活が見えにくく、発達に即して	
	いるか見えにくく感じる時があります。 ・経験したことがない項目は、評価しにくいです。 ・子ども	
	を大切に暖かく育てていただき、保護者にもあたたかいです。	

結果を受けて

- ・評価項目の内容が、保護者の視点からでは評価しにくいものがあつた。情勢及び個々の状況を鑑みながら、より具体的な評価項目を作成する

5、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・0歳児からの発達や育ちを踏まえる中で、個々の状況に寄り添って保育を行うことができた
- ・研修や協議を重ねるなどして、園児や保護者が安心できる場となるように努めた。その中で、保護者への伝達の方法や内容について、工夫の必要性に気づいた

6、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・発達に適した環境を整えることで、遊びの充実を図る	・室内や園庭の環境を見直し、必要に応じて整える
・園児や保護者が安心して園生活を送ることができるように、発信の方法を工夫する	・伝えたい内容に応じて、適切な発信方法を検討し、実施する。また、園児や保護者とのやりとりの中で丁寧に対応し、その内容を教職員間で共有する
・自己点検の体制を整える	・項目毎に点検者を決める等、自己点検の体制を組織化し、多角的な視点から園を捉える

7、財務状況

監査法人の公認会計士による監査の結果、適正であると認められている。